第3章 平戸市における夜間景観基本計画の方針

3-1. <u>コンセプト</u>

観光まちづくりの視点で各所の夜間景観を検討し、地域の再ブランディングに貢献 する『他に類の無い夜景のまちづくり』をめざします。

ステートメント (宣言)

絵になるまち平戸

夜間景観づくりのコンセプト

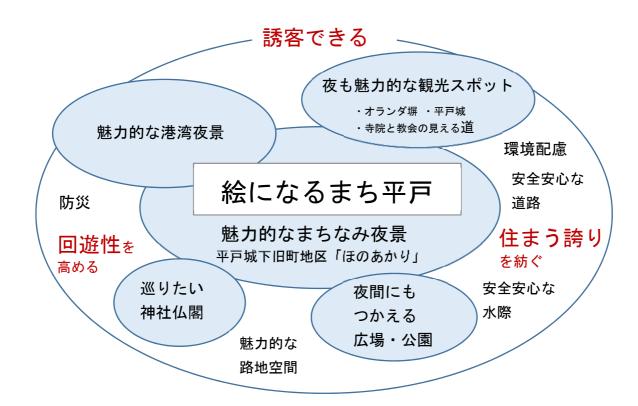
平戸らしさを磨き上げ 安全安心で誇りをもって住まうことができ 夜景が誘客の媒体となる 新たな観光・文化都市平戸 をめざします

あかりの指針

誘客できる夜景

回遊性を高める夜景

安全安心で 住まう誇りを紡ぐ夜景



3-2. 夜間景観基本計画の方針

「平戸らしさを磨き上げ、安全安心で誇りをもって住まうことができ、夜景が誘客の媒体となる新たな観光・文化都市平戸」の実現に向け、現状の調査、上位計画から 導き出される方針、社会における観光まちづくりの方向性及び令和4年度から5年度 に実施された各種アンケート及び住民ワークショップにおける市民・地域の意見をも とに以下のように7つの方針を設定します。

『絵になるまち平戸』3つの指針と7つの方針

誘客できる夜景

回遊性を高める夜景

安全安心で 住まう誇りを紡ぐ夜景

- ①平戸湾周辺の夜間景観形成 (水際エリア・視点場エリア)
- ②主要観光ポイントの夜間景観形成 (オランダ塀・寺院と教会の見える道・ 平戸城/亀岡公園)
- ③平戸城下旧町地区の夜間景観形成
- ④路地の安全安心の確保
- ⑤主要道路環境の改善
- ⑥河川エリアの夜間景観改善
- (7)民間の取組による夜景ランドマークの拡充

3-3. 都市照明に求められるあかりの品質と照明計画のポイント

今日の都市照明においては、以下のような「あかりの品質」が求められています。

①あかりの色温度・・・・・観光地・住宅地には暖かな「電球色」が最適です

2鉛直面の明るさ感が重要・・壁や樹木を照らすことは大きな明るさ感を創出します

③照明の配光を考える・・・・不快なまぶしさや夜空に拡散する光を抑制しましょう

④省エネルギー・・・・・LED 光源の利用、明るさの制御などが簡単にできます

⑤色彩の氾濫をふせぐ・・・・まちなみにふさわしい色彩の選択は重要です

⑥緑を活かす・・・・・・ 照らされた豊かな緑は、安全安心感をつくります

⑦点灯時間の管理・・・・・時間による点灯管理は環境配慮の点で重要です

これら原則のうち、地域で良い夜間景観を実現するためには、下記の①~③の3つが特に重要です。

①最適な色温度

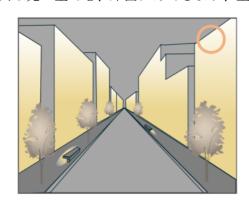
色温度とは光の色味の度合いのことをいいます。色温度が高いと白く冷たい光の色になり、低いと黄色く暖かい光の色になります。

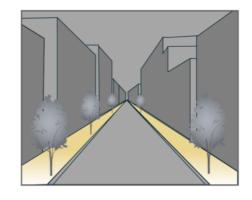




②鉛直面の輝度を重視する

同じ光の量でも、床面にあてるより、壁面にあてるほうが明るく感じます。





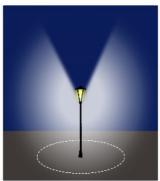
③グレアフリー

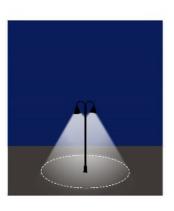
グレアとは、目にまぶしさを感じる不快な状態をいいます。また、グレアがあると、 それより強い光しか明るく感じなくなり、その他のものは暗く見えるようになります。











まぶしく、 エネルギーロスが高い

歩行に必要な 十分な明るさ

3-4. 重点エリアおよび路地の設定

◆本計画における7つの方針に示されたエリアおよび路地の概要 □街なみ環境指針対象区域 松浦史料 ③平戸城下旧町地区の ①平戸湾周辺の夜間景観形成 夜間景観形成 A HILLIAN 街なみ環境指針対象地区 ランドマーク ②主要観光ポイントの夜間景観形成 広場・公園 ④路地の安全安心の確保 ⑤主要道路環境の改善 ⑥河川エリアの夜間景観改善